

平成20年度 地域分権

# 事業の評価書

石橋南地域コミュニティ推進協議会

平成21年5月28日

## 20年度事業の評価書

石橋南地域コミュニティ推進協議会



会長 徳田宗義 防犯部会長 白井宗雄

### 記

- |          |  |
|----------|--|
| 事業の名称    | 1 防犯・街路灯設置事業<br>2 防犯カメラ設置事業  |
| 事業実施前の状況 | 1 地域の夜間の照明状況を実施調査したところ暗く街路灯設置が安心安全の必要が痛感した。<br>2 地下道(通学、住民通路)に落書き、ゴミの投棄を何度もかくにんする。   |
| 事業実施後の状態 | 1 明るくなり地域住民から安心、安全との声を聞き取りができた。<br>「0対策」<br><br>2 防犯抑止力と不法行為が無くなった。  |
| 事業の効果    | 1、2 地域内で犯罪等発生の実事がない。達成感、100% 満足感80%<br>2 行政に先駆けて設置し、部会と行政とで協議して運営管理規約等を定め活動ができ更なる相乗効果がめばえた。「オンリーワン」  |
| 今後の課題    | 1、2 きめ細かく街路灯、防犯カメラ設置の監視巡回活動 24 時間(破損、修理等)体制の強化が必要。また、役務費用の支弁制度化を検討する。<br>一方、防犯カメラ設置の表示看板をより大きく目立つように改善すれば犯罪抑止効果がより上がると考える。<br>おわりに、地域分権の石橋南地域コミュニティ推進協議会の認知度(25%)を周知、啓蒙活動を強化して認知度(50%)を倍増する取り組みをする。これらの地域分権が社会、地、人、知、物の5大地域力(チカラ)が地域財産の起業を今後も期待する。 |